

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style

[ビズスタ]

2023 11

特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、関西、
仙台、福岡、広島にて49万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社デイリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F
© 2023 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



伝統の職人技と最新のイノベーション。
世界最高峰の一角『オーデマピゲ』に、
栄で出会う。

メンズ、レディースとも新作が続々と到着。『オーデマ ピゲ ブティック 名古屋』。

ブランド初のスプリットセコンド機構を搭載した
自動巻きフライバック クロノグラフ

ROYAL OAK CONCEPT
SPLIT SECOND CHRONOGRAPH
GMT LARGE DATE

『ロイヤル オーク』の30周年イヤーとなった2002年に発表された『ロイヤル オーク コンセプト』は、オーデマ ピゲ最先端の機械式時計の機構とアバンギャルドなデザインを融合させたコレクション。ケースとムーブメントを完全に一体化した外観は、最先端の精密機械工学の美を感じさせる。

そして今年、また驚きの新作が発表された。『ロイヤル オーク コンセプト スプリットセコンド クロノグラフ GMT ラージデイト』は、コレクションのハイテクなアイデンティティをさらに深化させるタイムピース。未来的なルックスの中は人間工学に基づくアイデアの宝庫で、さらに成熟度を増している。新たに開発された43mmのチタン製ケースは、コントラストと光を駆使した多面的なデザインが特徴。複雑なプログラミングと製造工程が実現したケースとベゼルデザインによって自然に手首に添う微妙なカーブが描かれ、サイズからは想像できないほど穏やかな着用感を実現している。

スプリットセコンド(2本の針で別々にタイムを計測できる機能)クロノグラフは、実はブランド初。ムーブメントに採用された先進の自動巻き機構「キャリバー4407」の複雑なマイクロメカニズムは、裏蓋の中央に配置された。ローターの振動ウェイトを支えるボールベアリングの中に組み込まれた注目のスプリットセコンド機構は、ケースバックから愛でることができる。



ロイヤル オーク コンセプト
スプリットセコンド クロノグラフ GMT ラージデイト
43mm チタン
価格・要問合せ

年々進化するCODE 11.59 バイ オーデマ ピゲに、
コレクション初となるSSモデルが誕生

CODE 11.59 by
AUDEMARS PIGUET
CHRONOGRAPH

2019年発売の『CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ』コレクションは、18Kホワイトゴールドまたは18Kピンクゴールドモデルが展開されてきた。そこに今年、ステンレススチールのコレクションが新たに登場。世界中のウォッチファンを沸かした。

非常に薄いベゼルと八角形のミドルケースに、スタイリッシュなラグを立体的に溶接。『CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ』の複雑を極めたケース構造は、現代のオーデマ ピゲ製品の象徴とも言える。先端のテクノロジーと伝統の職人技を融合させた製造工程をステンレススチール素材で実現するには、極めて高度な技術が必要。この課題に対し設計技術者やエンジニア、クラフツマンらがノウハウを結集し、世界を代表するマニファクチュールとしての地位を改めて証明するかのような充実のモデルへと仕上げられた。

41mmモデルで、厚さは12.6mm。やや肉厚でスタイリッシュなケースに収められたダイヤルは、切り立ったバーインデックスやインダイヤルのメタリックな輝きが印象的なアクセントとなっている。今回は新たに開発されたスタンプ加工のダイヤルを組み合わせており、同心円のモチーフが濃淡の中に広がりデザインで情報の読み取りやすさがさらに向上。モチーフはスイスのギヨシェ職人、ヤン・フォン・ケーネルとオーデマ ピゲによる共作で、コレクションの新たなシグネチャーとなりそうな完成度を誇る。

今回のステンレススチールモデルでは、「ナイトブルー、クラウド50」とグリーンの2種をラインナップ。両モデルとも新世代のムーブメント「キャリバー4401」を搭載している。



CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ
クロノグラフ (ナイトブルー、クラウド50ダイヤル)
41mm ステンレススチールケース
4,675,000円(税込)

CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ
クロノグラフ (グリーンダイヤル)
41mm ステンレススチールケース
4,675,000円(税込)

日常から華やかに。本格を好む女性に、オーデマ ピゲの機械式時計。

実はレディースモデルも充実する「ロイヤル オーク」
オーデマ ピゲと聞くとなんか製品を思い浮かべるかもしれないが、実は創業当初から女性向け製品を多数手がけている。レディース初の「ロイヤル オーク」が誕生したのは1976年のこと。天才時計師ジュエル・ド・ジュンタがデザインしたオリジナルをもとに、女性デザイナーのジャクリヌ・ポワソンの再設計したモデルで、そのスマートでエレガントなデザインは世界中の女性たちから喝采を浴びた。

世界二天時計の一角として高い「オーデマ ピゲ」は、1875年、スイスのジュウ渓谷の村、ル・ブラッシユで創業した。2人の時計師の出会いから生まれた小さな時計工房は、やがて自社ブランドを設立し、ロンドンやパリ、NYなどを拠点に世界を席巻するにまで成長。機構部の開発まで自社内で完結できる世界的な名門「マニファクチュール」を君臨している。
ブランドの代表作として名高い「ロイヤル オーク」は、1976年に誕生したステンレススチール素材であるにも関わらず金よりも高価で、しかも無骨なデザインを大胆に展開したスポーティウォッチは、発売と同時に大反響を巻き起こす。ラグジュアリースポーツウォッチという新ジャンルを、一気に開拓した稀代の名品は昨年50周年を迎え、各方面から祝福の声に包まれたことは記憶にも新しい。技術革新への意欲は、創業100年を再来年に控える今も健在だ。

AUDEMARS PIGUET
Le Brassus



CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ
オートマティック(アイボリーダイヤル)
38mm 18Kピンクゴールドケース
4,400,000円(税込)

CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ
オートマティック(パープルダイヤル)
38mm 18Kピンクゴールドケース
4,400,000円(税込)

コレクション初となる38mm
フェミニンなCODE 11.59 バイ オーデマ ピゲの誕生

CODE 11.59 by
AUDEMARS PIGUET

2019年の登場と同時に世界的な人気コレクションとなり、瞬く間にブランドの顔のひとつへと駆け上がった『CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ』から、新風を吹き込むモデルが発表された。今年10月に発売となったばかりのこの新作には、ほっそりとした手首に似合う38mmケースが採用され、グッとフェミニンな印象に。41mm・42mmケースとは一線を画した、まったく新しい『CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ』の誕生となった。

グラデーション構造を再現したエンボス加工のダイヤルは、オーデマ ピゲがスイスのギヨシェ職人ヤン・フォン・ケーネルと共同で開発したもの。波のようなパターンが中心から外側に移動する精巧な装飾が施され、独特の色彩効果が演出されている。ダイヤルのカラーは鮮やかなパープルと控えめな光沢を放つアイボリーの2種を展開。ともに昨年発表されたばかりの最新世代の自動巻きムーブメント「キャリバー5900」が採用されている。

エレガンスをまとった「ロイヤル オーク」のレディースモデル

ROYAL OAK
SELFWINDING

一度見たら忘れないほどのインパクトに満ちた先駆的なデザイン、揺るぎないクラフツマンシップでオーデマ ピゲの妥協を許さないラグジュアリーなビジョンを体現する不変のアイコン。『ロイヤル オーク』は、1972年の衝撃的なデビューから今日に至る時計製造技術をリードしてきた革新的メゾンの金字塔となった稀代の傑作だ。

製造技術と工芸美術が高みで融け合うタイムピース群の中でもひとときを眩い輝きを放つ、不変のフラッグシップ。写真の2モデルは、昨年に発表された新デザインを採り入れたレディースモデルだ。右はフルピンクゴールドの37mmモデルで、左は初代『ロイヤル オーク』に採用されていた「ナイトブルー、クラウド50」ダイヤルが強烈な印象を残す34mmモデル。いずれも「八角形のベゼルに六角形のピス」という『ロイヤル オーク』の基本要素はそのままに、40個のダイヤモンドがセットされたベゼルが高貴に輝く。



ロイヤル オーク オートマティック
34mm 18Kピンクゴールド
7,700,000円(税込)

ロイヤル オーク オートマティック
37mm 18Kピンクゴールド
8,470,000円(税込)

My Favorite Life Style



特別な空間で、特別な体験を。
オーデマ・ピゲ ブティック 名古屋。

オーデマ・ピゲ ブティック 名古屋は、日本国内では最大規模の売り場面積を誇る大型路面店。世界各地のオーデマ・ピゲ ブティックでも初となる試みも多く導入されており、日本庭園風のエントランス、エスプレッソやシャンパンも楽しめるバーラウンジなど独自の店づくりを展開している。店内の空間設計においては、4フロアをフルに使うシャンデリア、木と石の自然素材を多用した演出で、ブランドの故郷ジュウ渓谷をイメージ。また「コレクショ」が並び「マニファクチュール」、社会貢献事業を含めたブランドの活動を学べる「ラウンジ」の両ゾーンとも上質を極めた空間となっている。

Biz Life Style Pick up >>>

オーデマ・ピゲのステイタスが伝わる
バレーパーキングサービス

愛車から降りたらキーを渡し、そのまま悠然とエントランスへ。バレーパーキングは、駐車場への入出庫をすべてスタッフに委ねることができるサービスだ。教育が行き届いた一流のマナーともてなしは、まるで5つ星ホテルのようなクオリティ。世界的な名品との出会いの日の序章として申し分ないサービスと言えよう。



Biz Life Style Pick up >>>

新作情報からスタイリング魅力など
話題満載のスペシャルコンテンツも
どうぞお見逃しなく！
アクセスは右の
QRコードから！



AUDEMARS PIGUET
Le Brassus

オーデマ・ピゲ ブティック 名古屋

愛知県名古屋市中区栄3-17-16 TEL.052-211-8188 営業時間/11:30~19:30